

共通科目名	臨床病態生理学		時間	30
学ぶべき事項	1.臨床解剖学			
	2.臨床生理学			
	3.臨床病理学			
	4.臨床病態生理学演習			
研修概要	臨床解剖学	臨床解剖学は、人体の正常な構造を明らかにする学問である。人体の正常な構造と機能の正確な理解によって、人体の異常な状態、病気の成り立ちを認識することができ、その診断や治療へとつながる。本講義では、全身の器官・臓器について個々の構造を学習し、なぜそのような構造をしているのかを、その器官・臓器の働きと関連づけて、人体を俯瞰して理解する。		
	臨床生理学	生理学は生体の機能とそのメカニズムを解明する学問である。臨床解剖学で人体の形態と構造を学んだ後の学習のステップとして、臨床生理学でその役割と機能を学ぶ。本講義では、人体の生理学的な機能異常に基づく代表的な疾患を理解し、エビデンスに基づいた最善のケアを提供できるよう、生理機能評価の方法と実際を学ぶ。		
	臨床病理学	臨床病理学は、疾病の原因、病変の発現機序、それらの因果関係及び相互関係を考察し、正しい疾病観と疾患の具体的概念を学習し、理論と同時に臨床医学への基礎作りも兼ねるものである。本講義では、各器官・臓器ごとの疾病の定義と特徴および顕微鏡所見、病因論などを学ぶ。		
到達目標	高度な看護実践に向けて、臨床病態（症状とメカニズム）について理解を深め、患者の身体を統合的に把握するための基礎知識を習得し、患者に対する援助方法や正常な機能へ戻すための方法について自ら考え、対策を立て、対処できる人材の育成を目標とする。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価			
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義（27時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（2時間）	視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	試験（1時間）	科目修了試験60分		

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.臨床解剖学	神経系	高尾 昌樹	埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科	講義	1
	循環系	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	2
	血液	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	3
	呼吸	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	4
	自律神経・内分泌	田邊 真紀人	福岡大学病院 内分泌・糖尿病内科	講義	5
	運動系	森井 太郎	森井整形外科病院院長	講義	6
	消化系	中瀬 一	北杜市立甲陽病院副院長 外科	講義	7
	生殖（臨床生理学も含む）	村瀬 真理子	横浜市大附属市民総合医療センター生殖医療センター 担当部長	講義	8
	細胞・遺伝子	勝部 憲一	学校法人青洲学園東都医療大学教授	講義	9
	泌尿器系	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院 副院長（診療部長兼務）	講義	10
	免疫	勝部 憲一	学校法人青洲学園東都医療大学教授	講義	11
2.臨床生理学	神経系	高尾 昌樹	埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科	講義	12
	循環系	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	13
	呼吸	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	14
	自律神経・内分泌（臨床病理学も含む）	田邊 真紀人	福岡大学病院 内分泌・糖尿病内科	講義	15
	運動系	森井 太郎	森井整形外科病院院長	講義	16
	泌尿器系	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院 副院長（診療部長兼務）	講義	17
	皮膚・感覚器系（1）	勝部 憲一	学校法人青洲学園東都医療大学教授	講義	18
	皮膚・感覚器系（2）	勝部 憲一	学校法人青洲学園東都医療大学教授	講義	19

3.臨床病理学	神経系	高尾 昌樹	埼玉医科大学国際医療センター神経内科・脳卒中内科	講義	20
	循環系	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	21
	血液	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	22
	呼吸	薬師寺 泰匡	岸和田徳洲会病院救命救急センター医長	講義	23
	消化系	中瀬 一	北杜市立甲陽病院副院長 外科	講義	24
	感染	加藤 英明	横浜市立大学医学部 血液免疫感染症内科	講義	25
	免疫	高橋 秀実	日本医科大学医学部 微生物学・免疫学教室 主任教授	講義	26
	がん	中瀬 一	北杜市立甲陽病院副院長 外科	講義	27
4.臨床病態生理学演習	<選択式> エネルギー	勝部 憲一	学校法人青洲学園東都医療大学教授	演習	28A
	<選択式> 臨床病態生理学の演習	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授		28B
	炎症	勝部 憲一	学校法人青洲学園東都医療大学教授	演習	29
科目修了試験				試験	30

共通科目名	臨床推論	時間	45
学ぶべき事項	1.診療のプロセス		
	2.臨床推論（症候学を含む）の理論と演習		
	3.医療面接の理論と演習・実習		
	4.各種臨床検査の理論と演習		
	5.画像検査の理論と演習		
	6.臨床疫学の理論と演習		
研修概要	診療のプロセス	患者の症候からその病態を推理する診療のプロセスとして症候診断の基本的な考え方を学ぶ。	
	臨床推論（症候学を含む）の理論と演習	患者が訴える症候から疾患群を想起し、何が最も疑わしいかについて一定の様式で臨床推論を行うため、症候学は臨床診断を行う上で重要な概念である。疾病を病因や病態からとらえるのではなく、患者の示す様々な訴えや診察所見から疾病を定義・分類し、主要な症候から疾患の診断ができるように、知識を統合し得られる情報を用いて論理的に推論する能力を身につける。	
	医療面接の理論と演習・実習	医療は患者との間の良好な信頼関係の形成から始まるものであり、良好な人間関係の構築と病歴の聴取及び身体所見の適格な取得には、一定の水準に達した診察技量が必要である。信頼関係の形成の基礎となる医療面接についての知識およびコミュニケーション技法を身に付け実践する。	
	各種臨床検査の理論と演習	臨床検査の著しい進歩により病態・疾病を正確に診断することができるようになり、医療現場で臨床検査は大きな役割を担っている。日常頻繁に使用されている臨床検査項目について、検体採取から臨床的意義並びに検査値の基本的な考え方や、臨床検査を中心とする一連の診断プロセスと病態との関係を総合的に学習する。	
	画像検査の理論と演習	近年の画像検査の進歩は著しいものがあり、現在の医療では不可欠な検査となっている。各種画像検査の結果から総合的に診断が行われる現在の診断体系から考えると幅広い知識が要求される。X線写真、CT、MR、超音波断層、核医学検査等の各種検査の臨床的意義、使用する装置の特性、そして実際の検査方法から結果の判読・評価に至るまで、基礎的な知識から臨床の場に即した検査結果と病態との関連について体系的に学ぶ。	
	臨床疫学の理論と演習	客観的な疫学的観察や統計学による治療結果の比較に根拠を求めながら、実地診療における臨床判断を、エビデンスに基づいて実施するために、臨床疫学の理論およびそれをコミュニケーションすることの重要性や手法論を学習する。	
到達目標	①主要な症候から疾患の診断ができるようになるために、知識を統合し、関連する病態生理を理解し、得られる情報を用いて論理的に推論する能力を身につける。		
	②診療プロセスのために有用な医療面接、各種臨床検査や画像検査などの検査所見から得られる情報を説明できる。		
	③各種臨床検査、画像検査を受ける対象者や家族に必要な支援ができる。		
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト		
	演習：ロールプレイによる演習の評価		
	実習：ロールプレイ・デブリーフィングによる実習の観察評価		
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施		
研修内訳	講義（35時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分	
	演習（8時間）	通番47,48,49：視聴時間（イントロ）5分＋ケーススタディ（症例提示2分＋個人ワーク8分＋グループワーク10分＋視聴時間（解説）5分）×2＋視聴時間（まとめ）5分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
		通番52,53：視聴時間（イントロ）10分＋ロールプレイ（準備5分＋ロールプレイ10分＋振り返り10分＋全体共有5分）＋グループ討論10分＋視聴時間（まとめ）10分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
		通番63,69,74：視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
	実習（1時間）	全日病S-QUEが提供する医療面接の実習の映像・テキストに基づいて指定研修機関で実技を行う	
試験（1時間）	科目修了試験60分		

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.診療のプロセス	症候診断の基本的な考え方	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	31
	医学的診断の方法	石松 伸一	聖路加国際病院 副院長/救急部部長	講義	32

2.臨床推論（症候学を含む）の理論と演習	症候論（1）頭痛	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	33
	症候論（2）めまい	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	34
	症候論（3）失神	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	35
	症候論（4）意識障害	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	36
	症候論（5）しびれ	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	37
	症候論（6）胸痛	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	38
	症候論（7）動悸	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	39
	症候論（8）呼吸困難	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	40
	症候論（9）腹痛	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	41
	症候論（10）嘔気	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	42
	症候論（11）腰背部痛	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	43
	症候論（12）関節痛	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	44
	症候論（13）風邪	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	45
	症候論（14）全身倦怠	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	46
ケーススタディ（1）	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	演習	47	
	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	演習	48	
	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	演習	49	
3.医療面接の理論と演習・実習	コミュニケーション技法（1）	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	講義	50
	コミュニケーション技法（2）	阪本 直人	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 講師	講義	51
	ロールプレイをもとにした討議（1）	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	演習	52
	ロールプレイをもとにした討議（2）	阪本 直人	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 講師	演習	53
	医療面接の実習	前野 哲博	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授 附属病院総合診療科	実習	54
4.各種臨床検査の理論と演習	心電図（1）	大島 一太	東京医大八王子医療センター	講義	55
	心電図（2）	大島 一太	東京医大八王子医療センター	講義	56
	血液検査	村上 純子	埼玉協同病院 臨床検査部長/教育研修センター長 臨床検査専門医	講義	57
	尿検査	海渡 健	東京慈恵会医科大学附属病院中央 検査部 診療部長/教授	講義	58
	病理検査	海渡 健	東京慈恵会医科大学附属病院中央 検査部 診療部長/教授	講義	59
	微生物学検査	海渡 健	東京慈恵会医科大学附属病院中央 検査部 診療部長/教授	講義	60
	生理機能検査	海渡 健	東京慈恵会医科大学附属病院中央 検査部 診療部長/教授	講義	61
	その他の検査	村上 純子	埼玉協同病院 臨床検査部長/教育研修センター長 臨床検査専門医	講義	62
	各種臨床検査の演習	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	演習	63

5.画像検査の理論と演習	放射線の影響 (1)	大河内 知久	上尾中央総合病院 放射線科診断科	講義	64
	放射線の影響 (2)	大河内 知久	上尾中央総合病院 放射線科診断科	講義	65
	単純エックス線検査/CT	大河内 知久	上尾中央総合病院 放射線科診断科	講義	66
	超音波検査・MRI・核医学検査	大河内 知久	上尾中央総合病院 放射線科診断科	講義	67
	CT/その他の画像検査	大河内 知久	上尾中央総合病院 放射線科診断科	講義	68
	画像検査の演習	大河内 知久	上尾中央総合病院 放射線科診断科	演習	69
6.臨床疫学の理論と演習	診断、検査の基本	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	70
	研究デザイン	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	71
	診断のEBM	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	72
	診療ガイドラインの読み方・使い方	南郷 栄秀	東京北医療センター総合診療科	講義	73
	臨床疫学の演習	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	演習	74
科目修了試験				試験	75

共通科目名	フィジカルアセスメント		時間	45
学ぶべき事項	1.身体診察基本手技の理論			
	2.部位別身体診察手技と所見の理論			
	3.身体診察の年齢による変化			
	4.状況に応じた身体診察			
	5.演習・実習			
研修概要	対象者の健康状態を包括的に判断するために必要なフィジカルアセスメントの知識と方法を学ぶ。高度な看護実践を行うために、必要な情報を収集する身体面の観察技術(面接、視診、触診、打診、聴診、測定)を習得し、経緯や自覚症状などと照らし合わせながら問診を行い、観察した結果から対象の健康状態を評価するまでの過程を学習する。また、小児・高齢者など身体診察の年齢により変化をとまなうフィジカルアセスメントの知識、救急及び在宅医療の状況に応じた身体診察技術を修得する。			
到達目標	①日常的にみられる病態を系統的に理解し、より高度な看護実践に向け、病態生理学的状態をエビデンスに基づき判断できる知識・技術を身につける。			
	②多様な臨床場面における重要な病態の変化や症状をいち早くアセスメントできる基本的な知識を身につける。			
	③フィジカルアセスメントを活用し、症例に関する適切な情報収集・分析ができる。			
	④病歴や身体所見などの情報を統合してアセスメントができ、今後必要となる処置や検査の予測ができる。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価			
	実習：ロールプレイによる実習の観察評価			
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義 (39時間)	視聴時間45分+講義確認テスト15分		
	演習 (3時間)	視聴時間 (イントロ) 10分+グループワーク30分+視聴時間 (解説) 20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	実習 (2時間)	実習は指定研修機関で行う。ロールプレイによる実習の観察評価を行う		
	試験 (1時間)	科目修了試験60分		

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.身体診察基本手技の理論	身体診察と問診	喜瀬 守人	家庭医療学開発センター副センター長/久地診療所所長	講義	76
	身体診察と診断推論	喜瀬 守人	家庭医療学開発センター副センター長/久地診療所所長	講義	77
	エビデンスに基づく身体診察	喜瀬 守人	家庭医療学開発センター副センター長/久地診療所所長	講義	78
2.部位別身体診察手技と所見の理論	全身状態とバイタルサイン (1)	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	79
	頭頸部	林田 裕彦 高橋 優二	社会医療法人 春回会井上病院 眼科 社会医療法人 春回会井上病院 内科	講義	80
	胸部	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター-医長	講義	81
	四肢・脊柱	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	82
	泌尿・生殖器	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院 副院長 (診療部長兼務)	講義	83
	乳房・リンパ節	鎌田 徹	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 乳腺外科	講義	84
	神経系	四本 竜一	東邦大学医療センター大森病院脳神経外科・神経内科病棟 主任看護師	講義	85
	心血管 (胸部)	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター-医長	講義	86
	呼吸 (胸部)	有田 孝	小倉記念病院	講義	87
	骨格筋 (四肢・脊柱)	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	88
	腹部	後藤 順一	河北総合病院	講義	89

2.全身状態とバイタルサイン(2)(症状別)	摂食嚥下障害	戸原 玄	東京医科歯科大学大学院 歯学総合研究科 准教授	講義	90
	悪心嘔吐	松田 昌悟	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 消化器内科医長	講義	91
	発熱	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	講義	92
	呼吸障害(1)	戒 初代	東京ベイ・浦安市川医療センター 集中ケア認定看護師	講義	93
	呼吸障害(2)	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	94
	ショック	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	95
	がん	田上 恵太	やまと在宅診療所 登米 緩和ケアチーム/東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野	講義	96
	浮腫・脱水	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	97
	意識障害	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	98
	高次機能障害	川北 慎一郎	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 リハビリテーション科	講義	99
	運動障害	岩瀬 弘明	山梨県立中央病院整形外科	講義	100
	痛みの診療	金出 政人	尚整会 菅整形外科病院 麻酔科・ペインクリニック	講義	101
	頭痛、癌性疼痛等	田上 恵太	やまと在宅診療所 登米 緩和ケアチーム/東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野	講義	102
3.身体診察の年齢による変化	小児(1)	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	103
	小児(2)	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	104
	小児(3)	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	105
	高齢者(1)	宮本 正治	社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院 内科	講義	106
	高齢者(2)	吉岡 哲也	恵寿ローレルクリニック院長	講義	107
	高齢者(3)	吉岡 哲也	恵寿ローレルクリニック院長	講義	108
4.状況に応じた身体診察	救急医療(1)	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院院長/岡山大学病院高度救命救急センター	講義	109
	救急医療(2)	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院院長/岡山大学病院高度救命救急センター	講義	110
	救急医療(3)	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院院長/岡山大学病院高度救命救急センター	講義	111
	在宅医療(1)	矢野 祖	医療法人社団 東京さんりつ会 さんりつ在宅クリニック町田	講義	112
	在宅医療(2)	西村 公太	南まちだ泌尿器科・内科クリニック	講義	113
	在宅医療(3)	野田 智宏	医療法人社団 大和会 町田クリニック	講義	114
5.身体診察基本手技の演習・実習/部位別身体診察手技と所見の演習・実習	全身状態・緊急度の評価	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	115
	問診	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	116
	フィジカルアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	117
	適切な問診、意識の評価	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	実習	118
	腹部、胸部のアセスメント	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	実習	119
科目修了試験				試験	120

共通科目名	臨床薬理学	時間	45
学ぶべき事項	1.薬物動態の理論と演習 2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習 3.主要薬物の相互作用の理論と演習 4.主要薬物の安全管理と処方の理論と演習		
研修概要	薬剤学・薬理学の基礎知識を深め、主要な疾患別の治療薬ならびに予防薬の薬効、作用機構、副作用、リスクマネジメント等、臨床における薬物の理論と実際について学習する。また、小児、女性、高齢者等、年齢による特性・個体差のある薬理作用と主要薬物の安全管理を学ぶ。		
到達目標	①薬剤学・薬理学の基礎知識を深め、薬物投与の基本概念を理解できる。 ②薬物の作用機序、生体内動態、及び薬理作用と副作用の関係を説明できる。 ③各種疾病の基本的な病態生理を考慮した上で、薬理学的根拠に基づいた適切な治療薬物の効果的な使用方法を検討できる。 ④主要薬物の安全管理と処方の理論を理解できる。		
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト 演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価 試験：eラーニング上で科目修了試験を実施		
研修内訳	講義 (35時間)	視聴時間45分+講義確認テスト15分	
	演習 (9時間)	視聴時間 (イントロ) 10分+グループワーク30分+視聴時間 (解説) 20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う	
	試験 (1時間)	科目修了試験60分	

学ぶべき事項	講師	講師所属	研修方法	通番		
1.薬物動態の理論と演習	薬剤学の基礎知識 (1)	大谷 道輝	杏雲堂病院 診療技術部部长/薬剂科科长	講義	121	
	薬剤学の基礎知識 (2)	大谷 道輝	杏雲堂病院 診療技術部部长/薬剂科科长	講義	122	
	薬理学の基礎知識 (1)	嶋田 修治	東京理科大学薬学部薬学科准教授	講義	123	
	薬理学の基礎知識 (2)	嶋田 修治	東京理科大学薬学部薬学科准教授	講義	124	
	薬物動態の演習	大谷 道輝	杏雲堂病院 診療技術部部长/薬剂科科长	演習	125	
精神神経系 (1) 統合失調症	精神神経系 (1) 統合失調症	井手 健太	産業医科大学病院 薬剂部 精神科専門薬剂师	講義	126	
	精神神経系 (2) 双極性障害	井手 健太	産業医科大学病院 薬剂部 精神科専門薬剂师	講義	127	
	精神神経系 (3) 認知症、パーキンソン病	井手 健太	産業医科大学病院 薬剂部 精神科専門薬剂师	講義	128	
	精神神経系 (4) てんかん、睡眠障害	井手 健太	産業医科大学病院 薬剂部 精神科専門薬剂师	講義	129	
	精神神経系 演習	井手 健太	産業医科大学病院 薬剂部	演習	130	
	心・血管系 (1) 心不全	心・血管系 (1) 心不全	吉国 健司	JCHO九州病院 薬剂部 副薬剂部部长	講義	131
		心・血管系 (2) 不整脈	吉国 健司	JCHO九州病院 薬剂部 副薬剂部部长	講義	132
		心・血管系 (3) 冠動脈疾患	吉国 健司	JCHO九州病院 薬剂部 副薬剂部部长	講義	133
		心・血管系 (4) 高血圧	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座臨床薬理学教授	講義	134
	心・血管系 演習	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座臨床薬理学教授	演習	135	
呼吸器系 (1) 気管支喘息治療薬①	呼吸器系 (1) 気管支喘息治療薬①	添田 博	東京医科大学病院 薬剂部・感染制御部	講義	136	
	呼吸器系 (2) 気管支喘息治療薬②	添田 博	東京医科大学病院 薬剂部・感染制御部	講義	137	
	呼吸器系 (3) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 治療薬	添田 博	東京医科大学病院 薬剂部・感染制御部	講義	138	
	呼吸器系 (4) 咳嗽に使用される薬剤	添田 博	東京医科大学病院 薬剂部・感染制御部	講義	139	
	呼吸器系 演習	添田 博	東京医科大学病院 薬剂部・感染制御部	演習	140	

2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習/3.主要薬物の相互作用の理論と演習	消化器系 (1) 上部消化器疾患	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	141
	消化器系 (2) 炎症性腸疾患	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	142
	消化器系 (3) ウイルス性肝炎	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	143
	消化器系 (4) 膵炎	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	144
	消化器系 演習	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	演習	145
	内分泌・代謝系 (1) 経口薬物療法	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科	講義	146
	内分泌・代謝系 (2) 注射薬療法	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座臨床薬理学教授	講義	147
	内分泌・代謝系 (3) 脂質異常症の薬物療法	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座臨床薬理学教授	講義	148
	内分泌・代謝系 演習	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科	演習	149
	骨・関節系 (1) 関節リウマチ	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	150
	骨・関節系 (2) 骨粗鬆症	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	151
	腎・泌尿器系 (1) 排尿障害	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座臨床薬理学教授	講義	152
	腎・泌尿器系 (2) 慢性腎不全	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座臨床薬理学教授	講義	153
	骨・関節系/腎・泌尿器系 演習	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科統合臨床看護科学講座臨床薬理学教授	演習	154
	抗がん薬 (1)	齋藤 義正	国立がん研究センター がん対策研究所がん医療支援部・中央病院薬剤部	講義	155
	抗がん薬 (2)	齋藤 義正	国立がん研究センター がん対策研究所がん医療支援部・中央病院薬剤部	講義	156
	抗菌薬 (1)	佐野 智望	国立がん研究センター 中央病院薬剤部 がん専門薬剤師/感染制御専門薬剤師	講義	157
	抗菌薬 (2)	佐野 智望	国立がん研究センター 中央病院薬剤部 がん専門薬剤師/感染制御専門薬剤師	講義	158
	抗がん薬/抗菌薬 演習	宇田川 涼子	国立がん研究センター 中央病院薬剤部 がん専門薬剤師	演習	159
4.主要薬物の安全管理と処方理論と演習	医療安全 (1) エラー事例から学ぶ	池田 龍二	宮崎大学医学部附属病院 薬剤部部長	講義	160
	医療安全 (2) エラー再発防止への取り組み	池田 龍二	宮崎大学医学部附属病院 薬剤部部長	講義	161
	高リスク患者 (1) 妊婦と授乳婦	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科 学科長/統合臨床看護科学講座臨床薬理学 教授	講義	162
	高リスク患者 (2) 小児と高齢患者、代謝・排泄臓器機能の障害患者	柳田 俊彦	宮崎大学医学部看護学科 学科長/統合臨床看護科学講座臨床薬理学 教授	講義	163
	主要薬物の安全管理と処方の演習	池田 龍二	宮崎大学医学部附属病院 薬剤部部長	演習	164
科目修了試験				試験	165

共通科目名	疾病・臨床病態概論		時間	40
学ぶべき事項	主要疾患の臨床診断・治療を学ぶ	主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論		
	状況に応じた臨床診断・治療を学ぶ	1.救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 2.在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習		
研修概要	主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論	循環器疾患・呼吸器疾患・消化器疾患等、プライマリ・ケアの場において遭遇することの多い主要な疾患・症状に対する、病態生理、臨床像、治療について基本的知識を学ぶ。		
	救急医療の臨床診断・治療の特性と演習	救急患者への対応や重症化予防の重要性を理解し、臨床診断・治療の特性に応じた治療を実践できる能力を培う。また、在宅医療において主要な病状の病態生理に基づいて、基本的な診察面接・身体診察・救急蘇生(Basic Life Support) の実際を学ぶ。		
	在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習			
到達目標	①頻度の高い主要疾患の診断・治療を理解する。			
	②状況に応じた臨床診断・治療(救急医学、在宅医療等)を理解する。			
	③臨床診断プロセスに必要な思考過程を身につける。			
評価方法	講義: eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習: ペーパーシミュレーションによる演習の評価			
	試験: eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義(34時間)	視聴時間45分+講義確認テスト15分		
	演習(4時間)	視聴時間(イントロ)10分+グループワーク30分+視聴時間(解説)20分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	試験(2時間)	科目修了試験60分		

学ぶべき事項	講師	講師所属	研修方法	通番	
主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論	循環器系(1)	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	166
	循環器系(2)	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	167
	呼吸器系(1)	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	168
	呼吸器系(2)	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	169
	消化器系(1)	平井 優	福岡市立病院外科	講義	170
	消化器系(2)	平井 優	福岡市立病院外科	講義	171
	腎泌尿器系	鈴木 康之	東京都リハビリテーション病院副院長(診療部長兼務)	講義	172
	内分泌・代謝系	野見山 崇	国際医療福祉大学市川病院 教授	講義	173
	免疫・膠原病系	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) 顧問	講義	174
	血液・リンパ系	山崎 雅英	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 診療部長・臨床検査部長・科長	講義	175
	神経系	徳田 安春	独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) 顧問	講義	176
	小児科	児玉 和彦	児玉小児科 理事長	講義	177
	産婦人科	新井 隆成	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 産婦人科	講義	178
	精神系	佐野 信也	防衛医科大学校 医学教育部 医学科 教授	講義	179
	運動器系	岩瀬 弘明	山梨県立中央病院 整形外科	講義	180
	感覚器系(1)	高橋 優二	社会医療法人 春回会 井上病院 内科	講義	181
	感覚器系(2)	林田 裕彦	社会医療法人 春回会 井上病院 眼科	講義	182
	感染症(1)	加藤 英明	横浜市立大学医学部 血液免疫感染症内科	講義	183
感染症(2)	加藤 英明	横浜市立大学医学部 血液免疫感染症内科	講義	184	

	その他：悪性腫瘍（1）	中瀬 一	北杜市立甲陽病院 院長	講義	185
	その他：悪性腫瘍（2）	中瀬 一	北杜市立甲陽病院 院長	講義	186
	その他：脳血管障害	高尾 昌樹	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院 特命副院長/ 臨床検査部 総合内科 部長	講義	187
	その他：急性心筋梗塞	山下 淳	東京医科大学 循環器内科学分野	講義	188
	その他：糖尿病	岩田 実	室蘭工業大学保健管理センター教授	講義	189
	その他：敗血症	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院/岡山大学病院	講義	190
	その他：認知症	鷺見 幸彦	国立長寿医療研究センター副院長	講義	191
	その他：熱中症	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	192
	主要疾患の病態と臨床診断・治療の演習（1）	徳田 安春	群星沖繩臨床研修センター長	演習	193
	主要疾患の病態と臨床診断・治療の演習（2）	徳田 安春	群星沖繩臨床研修センター長	演習	194
科目修了試験				試験	195
学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.救急医療の臨床診断・治療の特性と演習	特性（1）	薬師寺 泰匡	薬師寺慈恵病院	講義	196
	特性（2）	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	197
	特性（3）	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	講義	198
	救急医療の臨床診断・治療の演習	薬師寺 泰匡	岸和田区徳洲会病院救命救急センター医長	演習	199
2.在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習	特性（1）	片岡 侑史	ココロまち診療所院長	講義	200
	特性（2）	片岡 侑史	ココロまち診療所院長	講義	201
	特性（3）	片岡 侑史	ココロまち診療所院長	講義	202
	特性（4）	西山 雅則	織田病院副理事長	講義	203
	在宅医療の臨床診断・治療の演習	西山 雅則	織田病院副理事長	演習	204
科目修了試験				試験	205
<b>疾病・臨床病態概論の科目修了試験について</b> シラバス上では [195] [205] に分かれておりますが、eラーニング上では1科目として取り扱うため、修了試験は統合した内容で出題されます。 eラーニングで当該科目の修了試験を実施する際は、以下のいずれかの方法で実施をお願い致します。 [A：2時間の修了試験を1回実施] または [B：1時間の修了試験を2回実施]					

共通科目名	医療安全学／特定行為実践		時間	45
学ぶべき事項	1.特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ			
	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work（IPW））（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ			
	3.特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ			
	4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ			
	5.特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ			
研修概要	特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ	医療内容の複雑化、高度化、社会構造の変化、国際化などにより、医療現場ではさまざまなリスクが発生している。本講義では、特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全そしてケアの質保証の知識を理解し事例検討及びグループディスカッションを通して、医療安全の理解・実践に多面的にアプローチする。		
	特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（Inter Professional Work（IPW））（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ	チーム医療の理念と専門的サービスを提供する職種間の連携のあり方について学び、チーム医療の実際と今後チーム医療の中心としての特定行為研修を修了した看護師が担うべき役割について学習する。		
	特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ	特定行為に係る看護師の研修制度創設の背景と経緯、制度の概要から、医師法、保健師助産師看護師法、特定行為に係る看護師の研修制度の関連法規等を学ぶ。また、特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論を学ぶ。		
	根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	医師、歯科医師が看護師に特定行為を行わせるための「患者の病状の範囲」「診療の補助の内容」の指示として作成する文書である手順書の位置づけを学び、手順書の作成演習、使用する手順書の妥当性の検討及び手順書の見直し等評価と改良の手法を学ぶ。		
	特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ	上記内容を統合して学ぶ。		
到達目標	①特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ。特定行為を実践するための患者の安全・安心の保証や、多職種協働を推進するための課題と方策を理解する。			
	②多職種協働実践（Inter Professional Work（IPW））（他職種との事例検討等の演習を含む）の知識と実践能力を身につける。			
	③特定行為関連法規について理解し応用できる。インフォームドコンセントの歴史について理解し、応用できる。			
	④手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後手順を評価し見直すプロセスを習得する。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習の評価			
	実習：ロールプレイによる実習の観察評価			
	試験：eラーニング上で科目修了試験を実施			
研修内訳	講義（22時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（13時間）	通番216,220,229,233,241,242,244,245：視聴時間（イントロ）10分＋グループワーク30分＋視聴時間（解説）20分		
		通番225,226,231：全日病SQEが提供する映像・リフレクションシートを用いて指定研修機関で実習の振り返りを行う		
		通番248,249：全日病SQEが提供するリフレクションシートを用いて指定研修機関で実習の振り返りを行う		
	実習（9時間）	通番217：全日病SQEが提供する医療安全の実習の映像・テキストに基づいて指定研修機関で実技を行う		
		通番223,224：全日病SQEが提供する多職種協働実践の映像・テキストに基づいて指定研修機関で実技を行う		
		通番230：全日病SQEが提供するインフォームドコンセントと意思決定支援の映像・テキストに基づいて指定研修機関で実技を行う		
通番235,236,237：全日病SQEが提供するテキストに基づいて手順書の作成、評価、改良を行う				
試験（1時間）	科目修了試験60分			

学ぶべき事項		講師	講師所属	研修方法	通番
1.特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証（Quality Care Assurance）を学ぶ					
①医療倫理	(1) 医療倫理・生命倫理の原則	会田 薫子	東京大学 大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座 特任教授	講義	206
	(2) 特定行為と患者の権利・医療安全	松村 由美	京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授	講義	207
②医療管理	(1) 特定行為における医療マネジメント	松村 由美	京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授	講義	208
	(2) リスクマネジメントと法規制	北野 文将	名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 弁護士	講義	209
③医療安全	(1) 特定行為における組織と医療安全	松村 由美	京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授	講義	210
	(2) 特定行為における個人と医療安全	松村 由美	京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授	講義	211
	(3) 特定行為における患者・家族と医療安全	松村 由美	京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 教授	講義	212

④ケアの質保証	(1) 特定行為におけるケアの質保証～医療安全との関連	長尾 能雅	名古屋大学医学部附属病院 副病院長／患者安全推進部 教授	講義	213
	(2) 特定行為におけるケアの質保証～医療訴訟との関連	北野 文将	名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 弁護士	講義	214
	(3) 特定行為におけるケアの質保証～ケアと医行為との関連	竹之内 沙弥香	京都大学医学研究科人間健康学科 准教授	講義	215
	(4) 法的側面とケアの質保証に関する判例を分析する	北野 文将	名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 弁護士	演習	216
⑤医療安全の実習	特定行為実践に関連する医療安全の実習	池田 龍二	宮崎大学医学部附属病院 薬剤部教授	実習	217
2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践（IPW）（他職種との事例検討等の演習を含む）を学ぶ					
①チーム医療の理論	チーム医療を実践するために知っておくべきこと	山下 智幸	日本赤十字社医療センター 救急科	講義	218
②チーム医療の事例検討	チームとしての最大を発揮する	山下 智幸	日本赤十字社医療センター 救急科	講義	219
	チームとしての最大を発揮する 演習	山下 智幸	日本赤十字社医療センター 救急科	演習	220
③コンサルテーションの方法	どんな情報を伝え、何を求めるか	山下 智幸	日本赤十字社医療センター 救急科	講義	221
④多職種協働の課題	多職種との円滑な協働のためのマネジメント	辻本 雄大	クリケア訪問看護ステーション 急性・重症患者看護専門看護師／特定行為実践看護師	講義	222
⑤チーム医療の実習と演習	チーム医療の実習（1）	井上 聡己 辻本 雄大	奈良県立医科大学 集中治療部病院教授 奈良県立医科大学附属病院リソースナースセンター特定看護師統括マネージャー	実習	223
	チーム医療の実習（2）	井上 聡己 辻本 雄大	奈良県立医科大学 集中治療部病院教授 奈良県立医科大学附属病院リソースナースセンター特定看護師統括マネージャー	実習	224
	チーム医療の演習（実習の振り返り）（1）	井上 聡己 辻本 雄大	奈良県立医科大学 集中治療部病院教授 奈良県立医科大学附属病院リソースナースセンター特定看護師統括マネージャー	演習	225
	チーム医療の演習（実習の振り返り）（2）	井上 聡己 辻本 雄大	奈良県立医科大学 集中治療部病院教授 奈良県立医科大学附属病院リソースナースセンター特定看護師統括マネージャー	演習	226
3.特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ					
①特定行為関連法規	看護師特定行為研修の実際・モデルチェンジ	神野 正博	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 理事長	講義	227
②特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習	特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論	竹之内 沙弥香	京都大学医学研究科人間健康学科 准教授	講義	228
	特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の演習	竹之内 沙弥香	京都大学医学研究科人間健康学科 准教授	演習	229
	特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の実習	辻本 雄大	奈良県立医科大学附属病院リソースナースセンター特定看護師統括マネージャー	実習	230
	特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の演習（実習の振り返り）	辻本 雄大	奈良県立医科大学附属病院リソースナースセンター特定看護師統括マネージャー	演習	231
4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ					
①手順書の位置づけ		江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	講義	232
②手順書の作成演習		江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	演習	233
③手順書の評価と改良		江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	講義	234
④手順書の作成・評価・改良	手順書の作成・評価・改良の実習（1）作成	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	実習	235
	手順書の作成・評価・改良の実習（2）評価	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	実習	236
	手順書の作成・評価・改良の実習（3）改良	江村 正	佐賀大学医学部附属病院卒後臨床研修センター副センター長 准教授	実習	237

5.特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ				
①特定行為実践に必要な知識・技能・態度		北別府 孝輔	岡山大学 保健学研究科 急性・重症患者看護専門看護師/特定行為実践看護師	講義 238
②特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ	特定行為実践課程の構造 (1)	北別府 孝輔	岡山大学 保健学研究科 急性・重症患者看護専門看護師/特定行為実践看護師	講義 239
	特定行為実践課程の構造 (2)	加瀬 昌子	地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 特定看護師	講義 240
	特定行為実践課程の演習 (1)	北別府 孝輔	岡山大学 保健学研究科 急性・重症患者看護専門看護師/特定行為実践看護師	演習 241
	特定行為実践課程の演習 (2)	北別府 孝輔	岡山大学 保健学研究科 急性・重症患者看護専門看護師/特定行為実践看護師	演習 242
③特定行為実践のアウトカム	特定行為研修後の実践成果の検討	北別府 孝輔	岡山大学 保健学研究科 急性・重症患者看護専門看護師/特定行為実践看護師	講義 243
	特定行為実践のアウトカムの演習 (1)	北別府 孝輔	岡山大学 保健学研究科 急性・重症患者看護専門看護師/特定行為実践看護師	演習 244
	特定行為実践のアウトカムの演習 (2)	北別府 孝輔	岡山大学 保健学研究科 急性・重症患者看護専門看護師/特定行為実践看護師	演習 245
④特定行為の実践	特定行為の実践の実習 (1)		関西クリティカルケア・コミュニティ	実習 246
	特定行為の実践の実習 (2)		関西クリティカルケア・コミュニティ	実習 247
	特定行為の実践の演習 (実習の振り返り) (1)		関西クリティカルケア・コミュニティ	演習 248
	特定行為の実践の演習 (実習の振り返り) (2)		関西クリティカルケア・コミュニティ	演習 249
科目修了試験				試験 250